

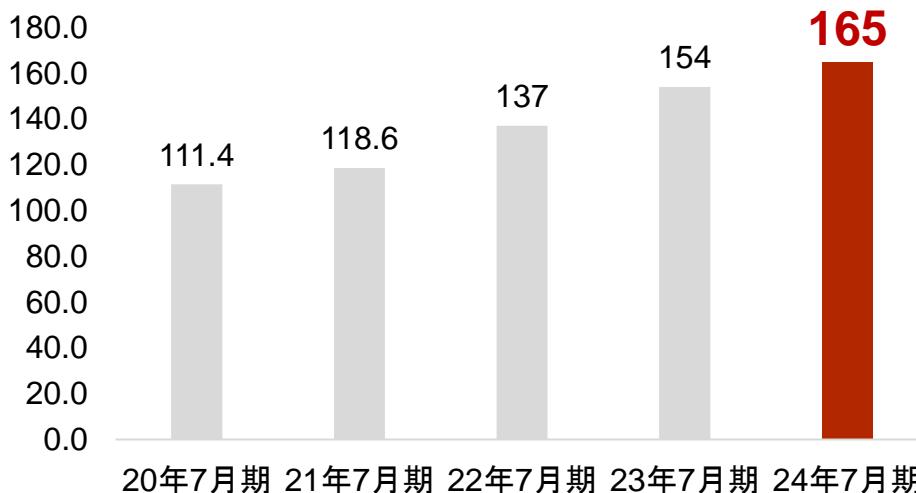
当社について

「おいしさイナズマ級！」というキャッチコピーで大ヒットし、2024年に販売30周年を迎えたブラックサンダーを始めとして、子どもから大人まで誰にも親しまれるお菓子を自社工場にて製造・販売している。

会社概要

- 会社名：有楽製菓株式会社
- 代表者：代表取締役社長 河合 辰信
- 本社所在地：東京都小平市小川町1-94
- 創業：1955年3月
- 資本金：1,140万円
- 事業内容：菓子製造販売
- 売上高：165億円（2024年7月期）
- 従業員数：458名（2024年7月期）
- 国内拠点：
本社工場、豊橋夢工場、札幌工場
札幌営業所、東京営業所、大阪営業所

売上高推移（単位：億円）



* 値引前の総額売上高

主要工場



- 2011年に愛知県・豊橋に約2万坪の工場「豊橋夢工場」を新設。
- お客様に「夢」のあるお菓子を届けることができる工場という意味など、「夢」を具現化した工場である。

主要ブランド

2024年に発売30周年を迎えたロングセラー商品



1.長期成長ビジョン

“日本一ワクワクする菓子屋”を目指し、働く従業員もワクワクしながら、国内市場の深耕と海外展開の拡大へ。2030年7月期売上高は、340億円を目指す。

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

- ・ “日本一ワクワクする菓子屋”を目指し、お客様のココロとオナカを満たし続けながら、企業理念である“安くておいしいお菓子”を提供し続ける。
- ・ 働く従業員こそ“ワクワクした気持ちとユニークな発想で働く”ために、賃上げを継続的に実施する。そのために、設備投資による生産性の改善・合理化は必須である。
- ・ 海外はこれまで最大の販売先である台湾を始め、**アジア国々、アメリカへの展開を拡大**し、世界のたくさんの方々にブラックサンダーはじめ有楽製菓のお菓子を楽しんでいただけるように取り組む。

会社全体の売上成長目標（2030/7月期）

- ・ 売上高成長率16%
- ・ 売上高増加額155億円

会社全体の賃上げ目標

- ・ 3%（直近事業年度～基準年度）
- ・ 6%（基準年度～事業化報告3年目）

外発的動機

- ・ 国内市場：日本では少子高齢化が進んでいるが、甘さ控えめ、素材指向など**在宅勤務時の大人的おやつ**として需要獲得や、観光客・訪日客という**外部需要の取り込み**、ファンマーケティングによる**1人あたり売上高（LTV）の増加**など伸びしろは十分にある。
- ・ 海外市場：日本ブランドへの信頼感が強い国々（台湾、タイ、香港など）では**「日本式チョコ菓子」**としてポジションが取れる。テスト販売を行ったアメリカ市場においても、**海外オリジナルの“新食感スナック”**として十分に市場ニーズがあることが確認出来た。

内発的動機

- ・ これまで当社は味の良さ・高いコストパフォーマンスで他社と差別化をしてきたが、時代の変化とともに、お客様のニーズも多様化。今後も当社商品を選んで頂くためには更なる価値提供が必要。
- ・ お客様にはお得感を感じてもらいながら、既存の枠にとらわれないユニークな発想をし続け、**業界の中でもオンリーワンの企業**でありたい。

2.補助事業の概要

需要に対して、供給が追いついていないブラックサンダー及びシリーズ品の生産能力を拡大するため、**豊橋夢工場**
敷地内に約4,000坪の第2工場を増築。

補助事業の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> ブラックサンダー（シリーズ商品含む）の需要に対して、供給が追いついていない状況である。 新規設備投資により、生産能力の向上、合理化と賃上げを目指す。 	事業費 (補助額)	25億円 (8.3億円)															
設備投資の内容	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県豊橋市にある豊橋夢工場敷地内に、約4,000坪の第2工場を増築。 第2工場では、まず需要の拡大する「ブラックサンダー」、「ブラックサンダーシリーズ」の生産力の増強を行う。その後製造設備を増設し、より多くの商品ラインアップの製造を予定。 第2工場では、既存の夢工場に比べて全面的な機械化、特に個包装・箱詰めの省力化を推進し、労働生産性の向上を目指す。 																	
目標値	 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; background-color: #e0f2ff;">項目</th><th style="text-align: center; background-color: #e0f2ff;">2027/7期 (基準年度)</th><th style="text-align: center; background-color: #e0f2ff;">2030/7期 (基準年度 + 3年後)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">労働生産性 (単位：万円/人)</td><td style="text-align: center;">1,275</td><td style="text-align: center;">2,396 (年平均上昇率 + 23.4%)</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)</td><td style="text-align: center;">628</td><td style="text-align: center;">748 (年平均上昇率 + 6.0%)</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">-</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">補助事業に係る従業員数 (単位：人)</td><td style="text-align: center;">462</td><td style="text-align: center;">505</td></tr> </tbody> </table>			項目	2027/7期 (基準年度)	2030/7期 (基準年度 + 3年後)	労働生産性 (単位：万円/人)	1,275	2,396 (年平均上昇率 + 23.4%)	従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	628	748 (年平均上昇率 + 6.0%)	役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	-	補助事業に係る従業員数 (単位：人)	462	505
項目	2027/7期 (基準年度)	2030/7期 (基準年度 + 3年後)																
労働生産性 (単位：万円/人)	1,275	2,396 (年平均上昇率 + 23.4%)																
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	628	748 (年平均上昇率 + 6.0%)																
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	-																
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	462	505																